

会 議 録

会議の名称	第 1 回那珂川市国民健康保険運営協議会		
開催日時	令和 6 年 4 月 16 日 (火) 19:00~20:10	開催場所	本庁舎 2 階第 1、2 会議室
出席者	1. 委員 上野委員、田中委員、野尻委員、榊委員、岡藤委員、 黒崎委員、仲吉委員、小塚委員 2. 執行機関（事務局） 藤島課長、松原係長、青木、田中係長、池永 3. その他 なし		
配布資料	・資料 1 第 3 期データヘルス計画・第 4 期特定健康診査等 実施計画（本編及び概要版） ・資料 2 国保事業実施に係る目標値 ・資料 3 令和 6 年度 当初予算（歳入・歳出）概要 ・資料 4 近隣市の令和 6 年度国保税率 ・資料 5 保険料（税）水準統一について ・資料 6 令和 6 年度国保運協スケジュール（案）		
議題及び審議の内容		記録者：松原	
1. 会長あいさつ 2. 事務局挨拶 3. 報告事項 (1) 第 3 期データヘルス計画・第 4 期特定健康審査等実施計画 事務局から説明 【質 疑】 委 員：健康寿命は各市で異なっている。那珂川市の健康寿命は何歳か。 事務局：本編 P. 10 の図表 4 に記載している「平均自立期間（歳）」が健康寿命を示している。本市は男性で 80.6 歳、女性で 84.8 歳となっている。男女とも県平均より長い結果となっている。			
(2) 国民健康保険事業の実施状況に係る目標値 事務局から説明 【質 疑】 委 員： 特定保健指導受診率で令和 4 年度は 61.20%であり、目標値は 60%として いる。質の向上に努めるということであるが、具体的なものがあれば教えて欲しい。 また、重複服薬・多剤投与の実績が 20 件であったが、今後マイナンバーカードの普及が進んでいけば、重複服薬・多剤投与のケースを是正する一助となるのか。			

事務局：特定健診等の推進について、国保被保険者が後期高齢者へ移行していく中で受診率を維持していくことは難しいと考えている。福岡県や国保連の研修へ参加すること、教材や資材の開発等、専門職一丸となって取り組んでいきたい。

重複服薬・多剤投与に対するマイナンバーカードの活用は、今後、医療機関や被保険者による活用が普及することで、その一助になると思う。

委員：特定健診の受診率について、個人が体調を崩し病院で健診を受けることがある。この健診は受診率に含まれているのか。

事務局：含まれている。このような健診をみなし健診と呼ぶが、今後も医療情報収集を活用していきたい。

(3) 令和6年度那珂川市国民健康事業特別会計予算

事務局から説明

【質 疑】

委員：被保険者数の減少とはどの程度か。

事務局：令和4年度では1万人を超えていたが、令和5年度では9千人台となり、今後も減少傾向は継続すると考えている。

(4) 筑紫地区の令和6年度国民健康保険税率

事務局から説明

質疑なし

(5) 保険料（税）水準統一について

事務局から説明

【質 疑】

委員：今回、標準保険料率に一致させるということをしたが、今後、後期高齢者医療制度に似たような形で県内統一へ進んでいくということである。今後も制度改正などが控えていると思う。

事務局：現在、数値として示せるものはないが、統一に向けた課題がある。県内でその課題を整理しながら進んでいくことになると思う。また、進捗があれば、説明していきたい。

4. その他

(1) 令和6年度 協議会スケジュール・協議内容

事務局から説明

質疑なし